

受援計画を含む災害対応チェックリスト（試案）

1. 発災後の被害状況把握、情報発信、救援要請

- 災害対策本部の立ち上げ時期・方法、組織図、災害対策マニュアルは設定されているか。
- 職員・入院・外来患者の安全状況を確認する方法、災害対策本部への連絡手段は確立されているか。
- 衛星携帯電話を導入し整備しているか？非常電源に繋がっているか？バッテリーは常時充電されているか？（「情報・通信」は現代において既にライフラインの一つと考える。）
- EMIS に入力すべき被害状況（建物倒壊もしくはその恐れ、ライフラインの状況、受入人数限界）を迅速に把握できる体制になっているか？被害状況を誰が確認し、誰に伝えるのか？
- EMIS への入力端末はどれか？誰が入力するのか？ID、パスワードを把握しているか？非常電源に繋がっているか？バッテリーは常時充電されているか？

（例）EMIS 入力担当：総務課 ○○（不在時 △△）

- 被災状況を伝える相手機関・上部機関の衛星電話番号を把握しているか？（こちらが衛星電話でも相手先が固定・普通携帯電話だとつながらない）

（例）緊急連絡先 1：県庁○○課 衛星携帯電話番号：○○○—△△□□

緊急連絡先 2：○○社（○○病院）衛星携帯電話番号：△△△—□□◇◇

- 近隣及び遠隔地医療機関との災害時相互支援協定を締結しているか？（最も近い災害拠点病院はどこか？そこにつながらない場合どこに連絡するか？）
- 災害時相互支援協定先に、誰が支援を依頼するのか？具体的依頼内容は決まっているか？

（例）「病院長は災害時相互支援協定を結んでいる◇◇病院に対し、必要な人員の応援を求める〈医師○名、看護師○名、事務職員○名など〉」

病院避難が必要または患者移送が必要となった際、受け入れ先医療機関は決定しているか？

（例）入院中の担送患者は○○市の△△病院へ転院を依頼する（移送方法：□□）

（例）透析患者の代行診療依頼医療機関は○○県△△病院へ依頼する

2. 支援チーム・支援物資の受け入れに関し

- 支援チーム受け入れ窓口・調整担当は誰が担うか？（可能なら複数）

（例）担当：○○課（科）△△（不在時□□）：受け入れ本部 ◇◇会議室

- 支援チームの待機場所は院内のどこにするか？
(例) DMATは〇〇会議室を、医療救護班は△△会議室を用いる。
- 支援物資、支援医薬品はどこに保管し、誰が管理するか？
(例) 食料品・水は〇〇会議室、医薬品は薬剤部△△倉庫 担当：薬剤師□□

3. 支援チームの運用に関し

- 支援チームに依頼する業務内容を記載した受援ワークシート（例を参照）を作成してあるか？
(例) 〇〇病院医療支援チームには救急外来診療支援を依頼する
- 支援チームを含む指揮命令系統のフローチャートは作成してあるか？
- 院内外の地図を作成してあるか？（支援者には土地勘も施設構造もわからない）
- 多職種ミーティングの開催場所・時刻を決めてあるか？
(例) 毎日8時、16時に〇〇会議室で多職種ミーティングを開くので代表者は参集すること
- 受援が長期間に渡る場合の支援チームの運用計画、引き継ぎをどのように行っていくか検討されているか？
- 自院がどの程度まで回復したら、支援を終了してもらうか目標を設定してあるか？設定目標の見直しが随時検討されているか？

4. 事業継続計画(BCP)に関し

- 災害時に継続すべき業務と休止する業務内容の計画（事業継続計画）は各部門で立案されているか？
- BCPを定期的に見直し、改善する体制になっているか。
(例) 自部署で休止すべき業務は何か？自部署で対応可能な業務は何か？自部署で緊急に支援を要する業務は何か？
(例) 部署全体として休止する部署や業務縮小によって余った人材は、どの部署の支援に回るのか？その差配は誰が行うのか？

5. ライフラインの長期途絶に対する対策・備蓄

- 院内の備蓄（食料・水・医薬品など）は職員分も含め1週間分あるか？
- 厳寒期の暖房、酷暑期の冷房について対策はなされているか？
- 燃料の備蓄は十分か、また確実な燃料確保のために販売元等と災害時優先販

売協定を結んでいるか？

(例) ○○地域石油商業組合との災害時優先販売協定を締結

- ガソリン不足が生じて、職員の通勤手段は確保されているか？
- 水資源の確保に対し、地下水等の利用を検討したか？
- 食料品、医薬品など、災害時でも安定供給を確保するための協定等を仕入れ先等と結んでいるか？

6. 受援・災害対策マニュアルに関し

- 発災時の各部門の行動内容を簡潔に明記したアクションカードを作成しているか？
- アクションカード（や簡易マニュアル）の存在、発災時の初期対応について職員に周知徹底なされているか？
- 指揮命令者が不在時の代理について明確な規定があるか？
- 院内の非常用電源が作動しない場合でも、対応できる対策マニュアル、備蓄となっているか？（実際に沿岸部の病院であった事例）
- 津波浸水の恐れのある医療機関では備蓄物の上層階での保管を行っているか？発電機、ボイラー、衛生携帯電話など、浸水する恐れのある場所に設置されていないか？
- 津波浸水の恐れのある医療機関では寝たきり患者等、移動困難な患者の上層階への避難経路は確保されているか？避難方法は決まっているか？

(例) 災害時は停電でエレベーターを使用できないため、地域住民、ボランティアの力を借りて、患者を上層階へ避難させる

- 医療機関の特異な立地条件（原発や大規模工場の近く、海岸の近く、活火山の近く、台風被害を受けやすい地域、等）に対する災害対策は取られているか？
- 被災者である病院職員の身体面・精神面に配慮した計画となっているか？病院職員家族の安否を確かめる手段について検討してあるか？
- 嘱託職員・委託業者（医事・給食・警備・清掃など）との災害時協定は検討されているか？
- NPO やボランティアなど、病院職員以外の支援も活用できる計画となっているか？

(例) エレベーター停止時、高層階への給食運搬は地域住民、ボランティアの力を借りてバケツリレー方式で行う。

7. 災害対応についての訓練・教育に関し

- ライフラインの長期途絶に対応できる災害訓練（シミュレーション含む）を年2回以上行っているか？
- 複数の幹部職員に対し指揮命令者（リーダー）となる教育・体制整備が行われているか？
- 訓練を重ね新しい制度なども加味しながら、マニュアル・BCPを常に見直していける体制となっているか？